

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 用途廃止に伴う住宅入居者の移転事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details like 0502 住環境の整備と景観形成, 01 ①市営住宅の適切な維持・管理, and 050805010200 住宅管理事業.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Content includes '公営住宅において適正な管理を推進するため、老朽化した住宅を、用途廃止し入居者の移転、建物の解体、用地の返還を実施する。' and '老朽化住宅を用途廃止認定する。用途廃止認定住宅入居者の移転を推進する。'

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 7 columns: ①手段 (担当者の活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), 単位, 29年度 (実績), 30年度 (実績), 01年度 (計画), 02年度 (目標), 03年度 (目標). Includes rows for '老朽化した公営住宅' and '用途廃止認定住宅入居者'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with 7 columns: 29年度 (実績), 30年度 (実績), 01年度 (計画), 期間限定総投入量. Rows include 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計 (A), and 正規職員従事人数.

30年度事業費 実績 (千円)

01年度事業費 予算 (千円)

Table with 7 columns for 30年度 and 01年度. Includes rows for 22 補償補填及び賠償金 (150) and 合計 (0 vs 150).

(4) 当該年度の実施内容

01年度の事業内容

02年度の事業内容

03年度の事業内容

Table with 4 columns for 01, 02, 03年度. Includes a note: '※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する' and a list: '・主要事業, ・市長マニフェスト, ・未来PJ事業, ・合併建設計画事業' with a right-pointing arrow.

事務事業名	用途廃止に伴う住宅入居者の移転事業	事務事業No.	50201000775	所属課	都市整備課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
市営住宅の管理業に於いて、安全性が確認できない老朽化した住宅の入居者に配慮するため開始した。開始後4住宅(御領東・番匠・桜ヶ丘・桃山)を用途廃止認定し、御領西住宅の建て替えに合せ既入居者に移転希望調査を実施、各住宅間でローテーション移転を行い御領東住宅入居者を全員移転させ解体撤去・敷地返還に至ったが、その後は、移転希望者の希望住宅を確保できず低迷していた。平成24年度に新たに3住宅(寺前第一、白井、谷貝)を用途廃止・政策空家認定した。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
入居者: 移転をすることにより、安全性の高い住宅を確保ができる。 市: 修繕費の削減・借地料減額など、市営住宅管理費の削減ができる。 議会: 常任委員会等で支持を受けている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	入居者の移転先確保(市営住宅の統廃合・ビルド化・民間住宅借入れ) 予算の確保・桜川市営住宅整備計画(仮称)策定 桜川市営住宅長寿命化計画の運用(平成21年度策定済)

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 快適な住環境整備の一環に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 耐用年数を過ぎて安全面で不安がある住宅を用途廃止して取り壊すことは、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 用途廃止し取り壊し、借地を返還することは維持管理費の削減することにより成果の向上が見込まれる。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 住宅に困窮する低所得者への住宅に提供ができないため影響があると思われる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 用途廃止住宅を統合し建替えることで、移転先を確保することができるほか、借地の返還につながる。民間住宅を公営住宅として、借りることも同様である。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 公営住宅を確保することにより、入居者移転の促進・借地返還を進められる。入居者個人との対応のため委託等には、不向きである。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 老朽化した市営住宅を用途廃止を、市営住宅管理者が行うことは、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨ 移転業務は自然減を待っている状況であるため、用途廃止した住宅の取り壊しができなかった。																								
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止																										
		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																								
移転業務は自然減を待っている状況であり、住宅の取り壊しができない状況である。		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧ コスト削減優先度評価結果 -																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>